

令和6年11月26日

小野市議会議長 高坂 純子 様

総務文教常任委員会
高坂 純子

行政視察報告書

先般、実施しました総務文教常任委員会 行政視察の結果について、
下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和6年11月12日（火）

2 視察メンバー

◎委員長：河島信行 ○副委員長：宮脇健一

・掘井ひさ代・前田光教・山本悟朗・小林千津子・川名善三・高坂純子

3 視察先及び調査内容

(1) 滋賀県守山市（人口：85,871人、面積：55.73K㎡）

○もりやまエコパーク 環境センター&交流拠点施設

・小野加東加西環境施設事務組合が計画している新しい焼却施設及び付帯施設の参考視察として

4 調査結果

《視察内容》

◎エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進し、

地球にやさしい持続可能な循環型社会を実現

新環境センターはごみの焼却に伴って生じる熱を利用し、高温高压の蒸気でタービンを回して発電を行い、発電で得られた電気は、施設全体の電気を補い余剰分は電力会社に売電し、タービン排熱は交流拠点施設の温水プールへ熱供給を行う。



【1】もりやまエコパーク環境センター

◆5つの施設コンセプト

- ①安全安心で安定した稼働②環境に最大限配慮
- ③エネルギーと資源の積極的な有効活用の推進④市民に愛され地域の活性化に資する⑤経済性に優れる

工期：平成30年9月28日～令和3年9月30日

工費：72億3,600万円

敷地面積：約2.5ha

建築概要：工場棟、管理棟、計量棟、ストックヤード棟他

設備概要：熱回収施設 71t/24h (35.5t/24h×2 炉)

リサイクル施設 10.68t/5h

◆熱回収施設

受入供給設備：ピットアンドクレーン方式

燃料設備：全連続燃焼式ストーカ炉

燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ方式

排ガス処理設備：減温塔、ろ過式集じん器、脱硝反応塔

灰出設備：焼却炉/ピット貯留・飛灰/薬剤処理後ピット貯留

余熱利用設備：蒸気タービン発電設備 1,400kW (基準ごみ2炉運転時)



◆リサイクル施設

受入供給設備：受入ヤード、受入ホッパ

破碎設備：低速回転式破碎機、高速回転式破碎機

選別設備：磁選機、粒度選別機、風力選別機、アルミ選別機

◆施設の特徴

- ・エネルギー回収率 (70t級の小規模処理施設では全国最高水準 18.5%)
＝発電効率 (17.0%) + 熱利用熱 (1.5%)
- ・サーマルリサイクル (エネルギーの地産地消)
- ・煙突が目立たなくすることで景観に配慮
- ・埋設廃棄物対策としてランプウェイを採用
- ・充実した施設見学 (バーチャル炉内体験、パッカー車トリックアート等)
- ・ペットボトルの水平リサイクル (ボトル to ボトル)

◎市民が共に学び、考え、行動する「環境学習都市」の実現

新環境センターの建設を契機として、平成29年10月23日に「環境学習都市宣言」が制定された。



この宣言は「市民一人ひとりがもりやまの環境について、さらに理解を深めるとともに、学び、考え、行動すること」とする自治会連合会からの決意表明を受け、市民の手によって定められたものである。

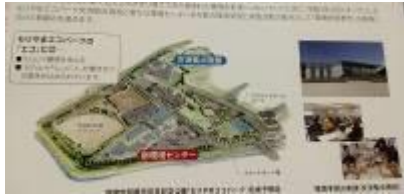
令和3年4月にオープンしたもりやまエコパーク交流拠点施設と新たな環境センターを市民の環境学習と実践活動の拠点として「環境学習都市」の実現に向けた取り組みを進めている。

【2】もりやまエコパーク交流拠点施設

(守山市環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設)

指定管理者 (TAC・ナショナルメンテナンス共同事業体)

◎「環境」「健康」「交流」をはぐくむ活動拠点



地域の新たな魅力づくりに大きく貢献する施設にするとともに、多くの市民が集い、憩うことで、市民に愛される施設として整備された。高齢者の生きがいづくりや健康増進はもとより、子ども達の健全な育成を図り、新たな交流が生まれる施設を目指している。

◆環境学習ゾーン

- ・環境学習室 (定員 63 名) 環境センターでの見学を終えた後に学習する。
- ・工作室 (定員 54 名) 工作機械も完備。ろくろで陶芸もできる。
- ・交流学习コーナー: PC 対応・学習や読書ができ、本棚には蔵書もある。
- ・キッチンスペース: 貸館利用 1 時間 100 円で料理作り等も楽しめる。

◆健康増進ゾーン

- ・温水プール: 水温 30℃~31℃
(プール) 25m×8 レーン・水深 1.1m または 1.35m
(キッズプール) 38 m²水深 0.4m
(採暖室)
- ・トレーニングエリア: 10 種類以上のトレーニングマシンを完備

◆交流促進ゾーン

- ・多目的ホール: 主にバレーボール、卓球、バドミントン、フットサル等利用
- ・温浴施設: 男女各定員 10 名
- ・畳コーナー: 将棋やボードゲーム、マッサージチェアも完備
- ・屋外多目的スペース: 無料のグラウンドゴルフ場

◆その他

- ・守山市事務室
- ・リユースステーション: 一ヶ月に一度無料で 1 点持ち帰れる。
- ・管理事務室
- ・前庭及び駐車場 (駐車場 97 台)

◆使用料等

※湖南 4 市カードの作成について

守山市、野洲市、栗東市、草津市在住の方 (守山市は在勤・在学も OK) はカード作成 (1 年間有効) することで料金は守山市民の扱いになり、湖南 4 市以外の方の利用は少し高くなる仕組みになっている。

- ・プール施設利用等 65 歳以上の方は約半額料金設定

※多目的教室について

火曜日から土曜日までヨガやエアロビクスなどの教室が行われている
1 コマ 50 分から 60 分。定員各 30 名。18 歳以上。全 10 回で 7,000 円

◆周辺整備について

新環境センターから交流拠点施設までの動線として、遊びの広場、まだ苗木も新しいバラ園。今後スケートボード場、バスケットボールコート、サッカーコート等も令和 8 年に完成予定である。

《所 感 1 》

【もりやまエコパーク環境センター】について

もりやまエコパークのエコには 2 つの意味が込められている。

★「Eco」⇒環境を考える

★「Echo」⇒「人」と「人」が響き合う

大変詳しく焼却施設のご説明を受けた。年間 2,000 人の見学者があるとの事だ。環境学習という観点から通路も広く見学しやすく、実際に手に触れたり、考えたり、体験したりと興味をわかせるようなポイントがそれぞれに工夫されていた。また大手企業コカ・コーラとの協定によりペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）が進められていて、大手企業の誘致も大切と感じた。まさにこういう形の焼却施設がこれから求められるものだと思う。



特に子ども達が学習を通してごみの分別やエネルギーについて学ぶことは、家庭へ持ち帰り保護者や家族、ひいては周りの大人たちも巻き込み環境学習が根付いていくと考える。SDG s を市全体で取り組む姿勢を見せて頂いたように思う。

その中で新しい焼却施設を計画する小野加東加西環境施設事務組合としても課題になるのではというところがあった。

- ・ごみの個別持ち込みが年々増えている。（メリットデメリットの検証）
- ・破碎ごみに関しては危険も生じるのでチェックする必要がある。（人材の配置）
- ・プラごみは燃えるごみとして処理している。（環境的にどうなのか。）
- ・ペットボトルの水平リサイクルはキャップとラベル剥しの人手が必要。（水平リサイクルを検討するか否か）
- ・ごみ袋 10 枚 300 円（名前明記）（加東市、加西市は有料・小野市は今後どうするのか）
- ・俗に迷惑施設と言われる環境施設なので、周りとの景観や導線など近隣住民に配慮した設計の建物でなければいけない。（特に煙突や屋上テラス等）
- ・物価高騰の今後に向けて、人口減少とごみの削減と焼却炉の規模や稼働率の緻密な計画が必要。

《所 感2》

もりやまエコパーク交流拠点施設について

先ず「もりやまエコパーク環境センター」を出ると甘い香りが漂うバラ園ロードの中を
通って「もりやまエコパーク交流拠点」へ進む。今回の視察目的のポイントを占める部
分である。早速、ヨガ教室からの帰りの方々に感想を聞く「すごく安く利用できるのが
嬉しい」とのこと。ガラス張りの大きな窓には沢山の利用者で賑わっているプールが見
えてきてワクワク感も誘われる気持ちになった。

担当の方より丁寧な説明を受けた。上記報告書に記載しているがそれぞれのコーナをぐ
るっと一回りできるので「人」と「人」を繋ぐ交流の場として大変有意義な施設と思っ
た。特に目を引く部分を上げてみた。

・温水プール：水深が「高」と「低」があり、丁度見学した時は水深が「低」で高齢者
の水中ウォーキングが大勢の方で賑わう理由がわかった。今年の夏には中学校が試験的
に水泳授業を行ったようだが小野市のプールと違って水が波打たないので水深を「高」
にすれば十分対応が出来る事もわかった。

高齢者の健康づくりには料金設定も重要で 65 歳以上の利用は一般の半額という部分も
魅力的だ。



・トレーニングエリア：説明にもあったがスペースが狭くマシンの数が少
ないのが反省点だと言われた。スペースが先に決まり後から使用目的を決
めたのでそこは順番を間違えないようにと助言を頂いた。

・交流・学習コーナー：窓側は全面ガラスで明るく、それに沿って設置の
テーブルにはパソコン対応、卓上ライト等が設置され木のぬくもりと広い
空間が解放感を与える。またパンやお菓子の入った自販機が置かれており

ちよっとお腹が空いた時も対応できる。近隣に飲食店が無いので好都合である。

余談だが外の自販機には通常のドリンクと賞味期限が近付いているドリ
ンクが入っていてフードロスにも取り組んでおられた。SDG s の観点から
も小野市もすぐに取り組めると考える。



・キッチンスペース：最新の調理器具も揃っており、光熱費も込みの
1 時間 100 円の魅力は夢が広がる。小さなお子さん連れのお母さん達には
交流の場として活用もできる。子どもの遊び場もあるので
交流コーナーでの月 1 回の子育て相談日を設けても良いのではとも考える。

今回は、次期建設予定のごみ焼却場と付帯施設の参考にさせて頂きたく、守山市にお世
話になった。ゴミ焼却場のイメージが一瞬で覆されたように思った。明るく清潔感が溢
れ誰もが環境について勉強もでき、より市民が身近に関心を持つことができる。

焼却熱を利用した施設を多くの方々が、安価で楽しく活用できる。特に高齢者にとつ
ての健康づくりの場になっていること。単独市で建設運営が行われている守山市と 3 市で
形成する組合での建設運営は同じとは言えないが大変参考になった研修視察だった。